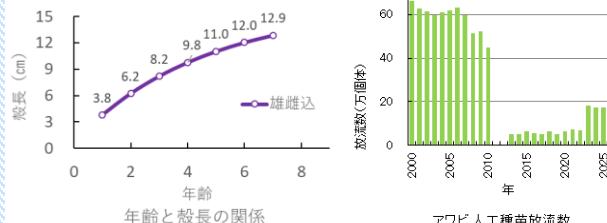


# エゾアワビ（地方名：あわび）

## 1 生態

- 茨城県以北の太平洋岸海域と新潟県以北の日本海側海域、水深10m以浅の岩礁域に分布します。
- 3～4歳で成熟し、産卵期は8～11月です。漁獲できる殻長になるまで4～5年を要します。
- 成貝はワカメ、アラメ、マコンブ等のコンブ目大型褐藻類を主に食べます。

\* 福島県水試研究報告第18号（2018）により右図を作成



## 2 漁業に関する情報

- 素潜りや潜水器を用いて漁獲されています。
- 2024年（令和6年）の漁獲量は1.3トン、金額は26百万円でした。
- 2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2014年（平成26年）5月から再開されています。



## 3 資源の状態

- 資源の水準：不明、資源の動向：横這い
- 震災後は2017年（平成29年）より規模を縮小した操業を行っており漁獲量が低下しているため、資源水準と動向は不明ですが、漁獲物の大型化が確認されています。
- 2016年（平成28年）より人工種苗の放流を再開しましたが、放流数は震災前の1/3程度の17万個に減少しているため、放流貝の混獲率は震災前より低下しています。

## 4 資源管理の取組み

- 多くの地先で1人1日あたりの漁獲個数を自主規制しています。
- 漁獲量の低下により資源が大型化していることから、余命が短く単価の高い大型個体から漁獲することで、効率的に資源を利用できます。
- 福島県漁業調整規則では禁漁期（毎年10月1日から翌年4月30日）と漁獲サイズの制限（殻長9.5cm以下）が規定されています。